

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
ボランティア活動	実習	1	小林 伸雄
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 人のために何かをしてあげようということではなく、自分が人のために何ができるのかを、発見することが目標であり、与えるものよりも与えられものの大きさを感じ取れるようになれば、自分の人生の広がりにつながり、ボランティアの目的が達成される。			
<b>【授業の概要】</b> 基本的には各自で、ボランティア活動ができる現場を開拓し、自ら参加する。担当者や協会が紹介する場合もある。実習時間は合計40時間以上で単位認定をする。 <u>2年間の在学中に参加すること。単位の認定は2回生後期となる。</u>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ボランティアの基本原則			
自主性・主体性に基づく活動		社会性・連帯性のある活動	
無償性・無給性に基づく活動		創造性・開拓性、先駆性がある活動	
2. 自分のボランティアスタイルの確認			
いつ、どれくらいの頻度で参加できるか			
どこで（場所）参加したいか			
3. ボランティアの心構え			
自分の行動・言動には責任を持つ			
相手のプライバシーは守る			
相手や仲間の立場・考え方を尊重する			
ひとりで抱え込まず皆で仕事を分担する			
常に自分の行動を振り返りながら、活動は楽しんで！			
4. <u>レポートの提出</u>			
<u>所定の用紙に、活動した事業所の確認印をもらう。</u>			
所定のレポート用紙に、必要事項を記入し、担当者に提出する。			
<b>準備学習の内容</b>			
予習のあり方:実習先がどういった業務内容なのかを、事前に把握し、担当内容をあらかじめ確認しておくこと。			
学習のあり方:人とのコミュニケーションを重視して、相手に喜んでもらえるには、何をすべきかを常に考える。			
復習のあり方:自分が実施した内容がどうであったかを、冷静に把握して評価する。			
<b>【成績評価】</b>			
ボランティア活動時間数（70%）、提出物（30%）			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
レポートに関しては、評価後に学生に返却しフィードバックを行う。			
<b>【テキスト】</b>			
特になし			

**【参考文献】**

必要に応じて紹介する。